

本宮市本宮赤十字奉仕団

本宮市本宮赤十字奉仕団					
2012年度					
実施日	参加人数	内容	会場	参加人数	
1 6月24日(日)	33人	プランターに花植え	本宮市 浪江仮設住宅	33人	
2 6月30日(日)	18人	プランターに花植え	本宮市 浪江仮設住宅	35人	
3 7月14日(金)	18人	花いっぱい運動「ほろろ文楽」	本宮市 本宮	23人	
4 10月21日(日)	20人	花いっぱい運動	本宮市 市内仮設住宅2箇所	110人	
5 11月12日(月)	25人	花いっぱい運動	本宮市 浪江仮設住宅	20人	
6 11月15日(木)	10人	花いっぱい運動	本宮市 浪江仮設住宅	30人	
2013年度					
実施日	参加人数	内容	会場	参加人数	
1 6月24日	25人	「花いっぱい運動」による文楽会	本宮市 浪江仮設住宅	25人	
2 6月28日	27人	「花いっぱい運動」による文楽会	本宮市 浪江仮設住宅	20人	
3 9月9日	12人	仮設住宅に入居者の文楽会などの 交流活動に注力(復興事業)	本宮市 浪江仮設住宅など	-	
4 9月9日	5人	仮設住宅に入居者の文楽会などの 交流活動に注力(復興事業)	本宮市 浪江仮設住宅	30人	
5 12月22日	21人	花いっぱい運動	本宮市 浪江仮設住宅	100人	
2014年度					
実施日	参加人数	内容	会場	参加人数	
1 6月7日(土)	32人	花いっぱい運動	本宮市 浪江仮設住宅	65人	
2 6月9日(月)	29人	花いっぱい運動	本宮市 浪江仮設住宅	90人	
3 12月14日(日)	5人	お返し会(にこにこ復興事業)	本宮市 浪江仮設住宅	22人	
4 12月20日(土)	12人	お返し会(にこにこ復興事業)	本宮市 浪江仮設住宅	30人	
5 12月27日(土)	18人	お返し会(にこにこ復興事業)	本宮市 浪江仮設住宅	30人	

[活動の実績はこちら](#)



★いつから活動されていますか？

- 家電6点セットの搬入のお手伝いし、その仮設住宅に継続的に支援に入っている。

★対象はどちらの地域の方ですか？

- 浪江町民、南相馬市民の皆さん。

★どんな活動をされていますか？

- 自治会長より「みんな花が好きだから、花が良い」「大きな鏡餅を作りたい」と話があった。
- 一緒に活動できることが良い。

★活動を始める際、どこでだれと協議しましたか (どなたの発案ですか？)

- 仮設住宅の自治会長(浪江町)と支援活動の協議をした。奉仕団からは「どんな支援がよろしいですか？」と伺った。何回も訪問し協議した。元気で帰ってもらえるまで共に頑張りたい。何かの形でお手伝いしたいとお願いした。奉仕団が行ったら喜ばれるものになりたいと思っていた。
- 現在は市の生活支援相談員が仮設住宅自治会の間取りをして、コーディネーターから奉仕団に話がおりてくる。



★被災された方々の声はどうでしたか？

- 仮設住宅に入居する際、お歳を召されていること、動揺されているのもあり、間取りが大変であった。自身で部屋を決めることができたため、皆さん建物を見て歩いた。隣に娘を呼びたいので2軒続きで借りる人もいた。仮設住宅を転々とされている方もおり、7箇所目という方もいた。地域関係なく入居された。
- 近所の借上げに住んでいる方が、当時は話もしたくない、何もしたくない、人に合うのも嫌だったそうだが、今年の春に花を一緒に植えて、自立に向かっていていると感じた。
- 本宮市はゴミの分別が大変厳しく、自治会より「ゴミの分別が大変」と話があった。
- 仮設住宅敷地内で、立派な家庭菜園をお互い協力し合いながら作っている方もいる。
- 抽選で復興住宅に入ったが、知らない人ばかりで不安を感じている方も多いと聞く。

★支援活動において良かったことは何かありますか？

- 団員も支援活動の話があると「私もやる」とどんどん手を挙げてくれ嬉しい。
- 餅つきの際、浪江町の”にんにく餅”を教えて頂いた。すごい臭いだったが、「俺達はこれじゃないと餅を食べた気持ちにならない」と言っていた。同じ浪江地域の町民もいたが、「私の地域では食べない」など話が盛り上がり楽しかった。
- 釣りが好きな方がおり、大きな魚を釣ってきて集会所でアツという間にさばいたのを見てびっくりした。
- いつでもお茶を飲みに来て下さいと言ってもらえありがたい。

★大変だったこと・困ったこと等ありましたらお聞かせ下さい

- 入居の際(浪江町住民)、どこまでお手伝いしてよいかわからなかった。
- 物は豊富であったが、集会所が狭く人が多く入れない。
- 他団体が仮設住宅支援に入るのはよいが、継続的ではない。続けて行って頂ければよいが、名前が入ったボランティアで一度だけ花を植えていく団体も多い。そういった事は誰でもできると思う。

★今後の支援活動において何か新しい取組み等がありましたらお聞かせ下さい

- 今年の 8 月に仮設住宅で自主的に納涼祭を実施した。いつまでも甘えていられないと言っていた。春の花植えの際も「ここまでは自分達で準備する」といって頂けた。自治会長が配慮してくれた。徐々に自立していく方向性がみられる。

★支援者(奉仕団や他団体)の「こころのケア」の必要性を感じますか？

- お互い気を使っていない関係がよい。先日、「声をかけてくれないなら奉仕団を辞めるよ」と言われみんなで笑った。団員が一人一人お互い支えあっていることが大変ありがたい。

